

# 完璧な製造精度。真っすぐが、 真っすぐにあるために。



ゴルフの道具は、精密なようであり意外にファジーである。量産品の場合、ある程度の製造公差が設定されている。しかし、異分野のエンジニアの目には、この暗黙の了解が奇異に映るようだ。

MERGE - model type P-01

本体価格 レディメイド ¥300,000(税別)

カスタムメイド 350,000円(税別)

お問い合わせ <http://merge.tokyo/>



試打インプレッション:

自分がどういふゴルフをしたいか、それをしっかり考えることができる人たちの思いに応じてくれる道具ですね。中空構造による弾き感や音、そして見た目の良さは特筆できますが、でも、このパターの良さは穏やかな転がり。ヘッドの慣性にまかせれば、ボールは自然に思った距離に転がっていく。振り幅に沿った転がりを約束してくれる。こういうパターを使うことで、インパクト合わせの距離感合わせになりにくく、パットが良くなっていくのです。

ワンオフモデルにこだわらる、  
眼鏡メーカーのプライド。

多くのパターには、アライメント、またはサイトラインと呼ばれるフェースと直角に引かれる線がある。こうした線は、ドライバやアイアン、ウェッジなどにはみられないものだ。ではなぜ、パターだけにこうしたフェースと直角のラインが存在するのか？それは、パターほど目標に対して厳格なセットアップが求められるからである。ドライバやシャフトの長いクラブは、動きの中である程度フェースの向きをコントロールできる。しかし、ヘッドの移動距離の短いパターには、その補正をかける時間がない。だからこそ、最初のセットアップでの誤差が、そのまま結果の誤差につながってしまうのだ。それなのに……。

「なぜ、従来パターは設定数値と製品精度にこれほどの差が生じているのだろうか？」

日々精密をむねに製品開発に取り組んでいる眼鏡メーカー『アイメトリクス』のエンジニアにとっては、それは容認できないものだった。

ご存知の通り、アイメトリクスは世界で唯一、顔を3D計測し立体採寸したデータを基にオーダーメイドで仕上げる高機能眼鏡を提供するメーカーだ。その緻密な素材加工技術をゴルフパターに応用して、『MERGE(マージ)』というモデルを誕生させた。拡散接合というゴルフクラブ製造では世界初となる製法で形成された中空構造は、精密かつ大胆な左右へのウエイト配分を実現。ミスヒットの影響を最小限に抑えてくれる。そして、金属塊からネックとヘッドを一切の溶接を施さずワンピースで超精密に削り出す技術が、設計値と製品精度の完全なる一致を可能にした。全てが精密であればこそ、ヘッド全体が目標への正確なアライメントになるのだ。

『アイメトリクス MERGE(マージ)』は、完全なる受注生産。ゴルフファンの視覚的な好みやパッティングフォームの解析、打点や打ち出し方向、速度などを分析したのちに、ヘッドの精密加工に進んでいくからだ。

正確なセットアップ。真っすぐなストローク、カップに向かって伸びていくボールの直進性。パターには、精密性が求められる。さて、あなたの愛用パターの真っすぐは、本当に真っすぐになっているのだろうか？